

# 琉球大学学術リポジトリ

ハジカサーヒメソバガラガニ (新称) (甲殻亜門:  
十脚目: 短尾下目: ヤラワガニ科)  
の沖縄諸島からの記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2018-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 成瀬, 貫, 前之園, 唯史 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/38629">http://hdl.handle.net/20.500.12000/38629</a>



## ハジカサーヒメソバガラガニ (新称) (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ヤワラガニ科) の沖縄諸島からの記録

成瀬貫<sup>1,3</sup>・前之園唯史<sup>2</sup>

<sup>1</sup>〒907-1541 沖縄県八重山郡竹富町字上原 870 琉球大学 熱帯生物圏研究センター  
西表研究施設 (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)

<sup>2</sup>〒901-2111 沖縄県浦添市経塚 1-4-5 102 株式会社かんきょう社  
(maenosono@kankyo-sha.co.jp)

<sup>3</sup>通信著者

**要旨.** 沖縄島及び藪地島より *Elamena panglao* Naruse, Mendoza & Ng, 2008 (ヤワラガニ科) が確認された. 本種はフィリピン・Panglao 島からのみ記録されていたため, 本報告が 2 番目の分布記録であり, また本種の日本初記録である.

### はじめに

ヤワラガニ科 Hymenosomatidae MacLeay, 1838 に属するヒメソバラガニ属 *Elamena* H. Milne Edwards, 1837 には 26 種が知られており (Ng et al. 2008; Naruse et al. 2008; Husana et al. 2013), そのうち日本からはヒメソバガラガニ *E. truncata* (Stimpson, 1858) とウスソバガラガニ *E. gracilis* Borradaile, 1903 の 2 種のみが知られていた (Sakai 2004). しかし最近, フィリピン・Bohol の Panglao 島から記載され, 当地からのみ知られていた *Elamena panglao* Naruse, Mendoza & Ng, 2008 が, 沖縄島及び与勝半島沖の藪地島より採集されたのでここに報告する.

なお, 標本の大きさは甲長 × 甲幅 (mm) により示した. 本研究で用いた標本はすべて第二著者 (前之園) により採集され, 琉球大学資料館 (風樹館; RUMF) に収蔵されている.

### 種の報告

#### *Elamena panglao* Naruse, Mendoza & Ng, 2008

#### ハジカサーヒメソバガラガニ (新称)

(図 1, 2)

**供試標本.** RUMF-ZC-1979, 2 雄 (4.8 × 6.1, 4.8 × 6.1 mm), 2 雌 (5.5 × 7.6, 6.0 × 7.9 mm), 沖縄島恩納村瀬良垣, 2010 年 2 月 2 日 採集; RUMF-ZC-1980, 2 雄 (5.5 × 6.6, 5.7 × 6.9 mm), 1 抱卵雌 (6.3 × 8.5 mm), 沖縄島恩納村宇加地, 2010 年 3 月 31 日 採集; RUMF-ZC-1981, 1 雄

(5.4 × 6.4 mm), 4 抱卵雌 (5.9 × 7.4 – 7.3 × 9.1 mm), 藪地島, 2009 年 4 月 26 日 採集; RUMF-ZC-1982, 1 雄 (4.0 × 4.9 mm), 沖縄島浦添市港川, 2008 年 2 月 24 日 採集; RUMF-ZC-1983, 1 雄 (3.3 × 3.9 mm), 沖縄島那覇市大嶺海岸, 2008 年 10 月 12 日 採集; RUMF-ZC-1984, 1 雌 (6.5 × 8.6 mm), 沖縄島糸満市北名城, 2010 年 2 月 27 日 採集; RUMF-ZC-1985, 1 雄 (5.3 × 6.5 mm), 沖縄島糸満市大度海岸, 2010 年 4 月 3 日 採集; RUMF-ZC-2977, 1 雄 (5.9 × 7.1 mm), 沖縄島海中道路, 2013 年 2 月 9 日 採集; RUMF-ZC-2978, 1 抱卵雌 (7.7 × 10.4 mm), 沖縄島浦添市港川, 2009 年 3 月 28 日 採集.

**生息状況.** 供試したすべての標本は海草藻場の潮間帯や潮下帯より採集された. 採集水深は 0.5–1.5 m 程度であり, 砂地の底質に拳大以下の転石や死サンゴ礫などが散在していた. 底質ごとタモ網で掬い取る方法で採集しているため, 本種の更に細かいレベルでの生息微環境は不明である.

**備考.** 沖縄島及び藪地島より得られた標本は, 甲の前側縁が広く張り出し, 背面からは眼を認識できない, ヒメソバガラガニ属にしては歩脚が太短い (図 1a), 雄の第一腹肢の基部 1/3 で一回転のひねりが入っている (図 2), などの形態的特徴から, *Elamena panglao* Naruse, Mendoza & Ng, 2008 に同定された. 今回採取された沖縄諸島産の標本は, *Elamena panglao* の原記載に概ね一致するが, 雄の鉗部がより太くなり, また可動指と不動指の先端部がやや馬蹄形になる (図 1b, c) 点で異なる. しかしこれは, 原記載において検鏡された雄の最大サイズが 3.5 × 4.3 mm と小さく, 本研究により得られた雄標本では最大 6.5 × 8.6 mm と大きいことから, 本標本群において成長による雄鉗脚の形態の変

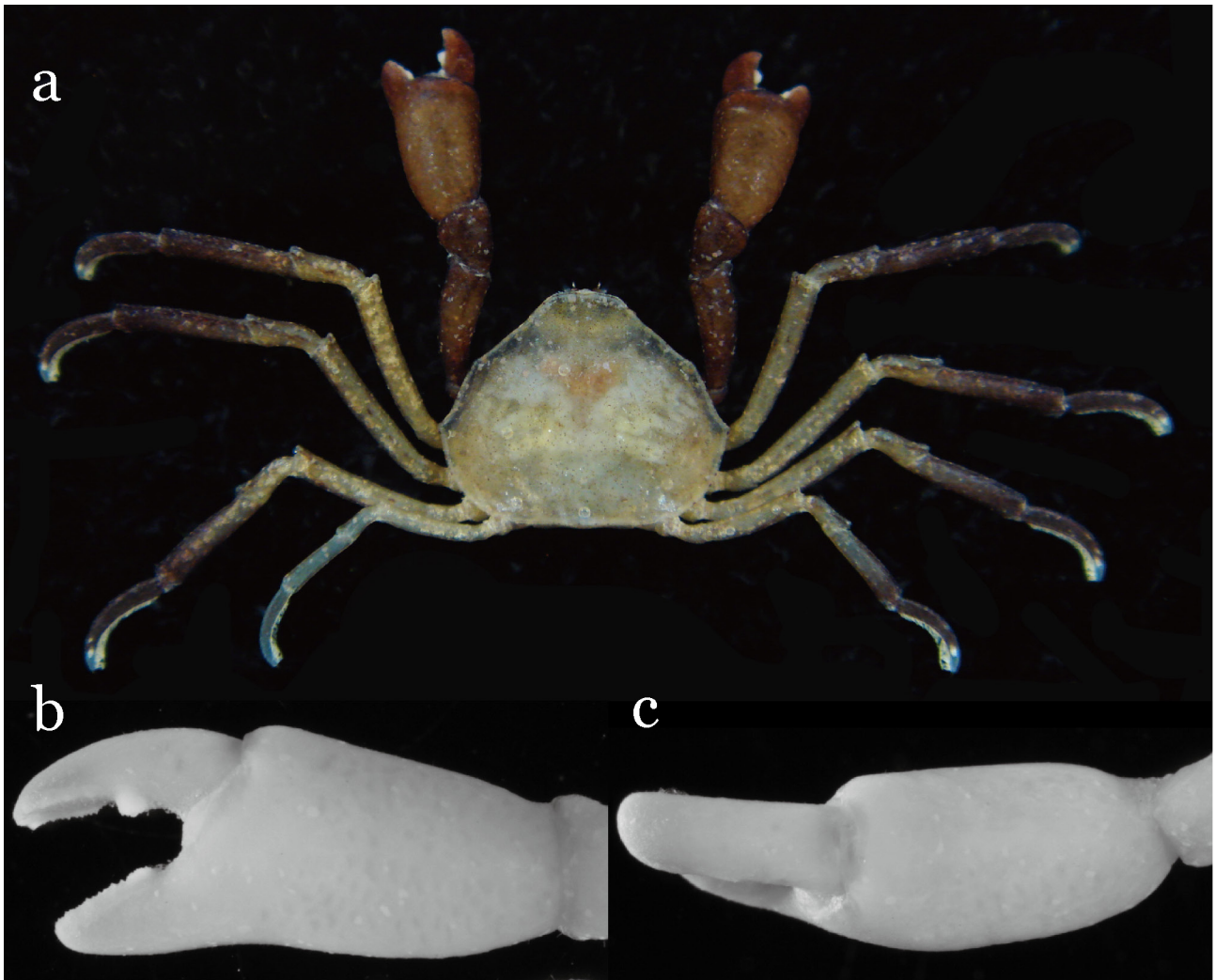


図1. ハジカサーヒメソバガラガニ (新称) (RUMF-ZC-2977, 雄, 5.9 × 7.1 mm). a, 全体, 背面; b, 左鉗部, 外面; c, 左鉗部, 上面.

Fig. 1. *Elamena panglao* Naruse, Mendoza & Ng, 2008 (RUMF-ZC-2977, male, 5.9 × 7.1 mm). a, habitus, dorsal view; b, left chela, outer view; c, left chela, upper view.

化がより顕著に発現しているためだと考えられる。同様に、本研究の標本群の内、大型個体では歩脚が比較的長くみえる傾向にあるが、これも相対成長のためだと考えられる。

本種は今までタイプ産地のフィリピン・Panglao 島からのみ記録されていたため (Naruse et al. 2008), 沖縄諸島が本種の2番目の産地であり、また本報が本種の日本初記録である。

**標準和名.** 本種は甲の前側縁が大きく広がり、眼はその下側に位置している。このため、本種を背面から観察した際に眼を見る事ができない (図 1a)。この特徴より、沖縄口で「照れ屋」や「恥ずかしがり屋」という意味を含む「ハジカサー」を冠した標準和名「ハジカサーヒメソバガラガニ」を提唱する。なお、標準和名の

基準となる標本を RUMF-ZC-2977 (雄, 5.9 × 7.1 mm) とする。

#### 謝辞

沖縄口について助言を頂いた伊集力也氏に感謝します。また査読過程において奥野淳兒博士と匿名の査読者より有益な助言を受けたのでここに感謝します。

#### 引用文献

Husana, D.E.M., T. Kase & J.C.E. Mendoza, 2013. A new species of false spider crab of the genus *Elamena* H. Milne Edwards, 1837 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Hymenosomatidae), from

Sakai, K. (2004) *Crabs of Japan* [CD-ROM]. ETI Information Services Ltd.

**The occurrence of *Elamena panglao* Naruse, Mendoza & Ng, 2008 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Hymenosomatidae) from the Okinawa Island-group, Ryukyu Islands, Japan, representing the second distributional record of the species and first record from Japan.**

**Tohru Naruse<sup>1,3</sup> & Tadafumi Maenosono<sup>2</sup>**

<sup>1</sup>Tropical Biosphere Research Center, Iriomote Station, University of the Ryukyus, 870 Uehara, Okinawa 907-1541, Japan  
(naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)

<sup>2</sup>Kankyosha, 1-4-5 102 Kyojuka, Urasoe, Okinawa 901-2111, Japan  
(maenosono@kankyo-sha.co.jp)

<sup>3</sup>Corresponding author

**Abstract.** The hymenosmatid crab *Elamena panglao* Naruse, Mendoza & Ng, 2008 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Hymenosomatidae) was originally described from Panglao Island, Bohol, Philippines. In this study, the species is recorded from the Okinawa Island-group, Ryukyu Islands, Japan, representing the second distributional record of the species as well as first record from Japan. The male specimens of the present series differ from those in the type series in the relatively stout chelae with hoof-like tips of fingers. Similarly larger individuals tend to have proportionally longer ambulatory legs. This difference could be attributed to allometric change, since the specimens of the present series are larger in size than those in the type series.

投稿日: 2014年4月14日

受理日: 2014年5月11日

発行日: 2014年5月15日

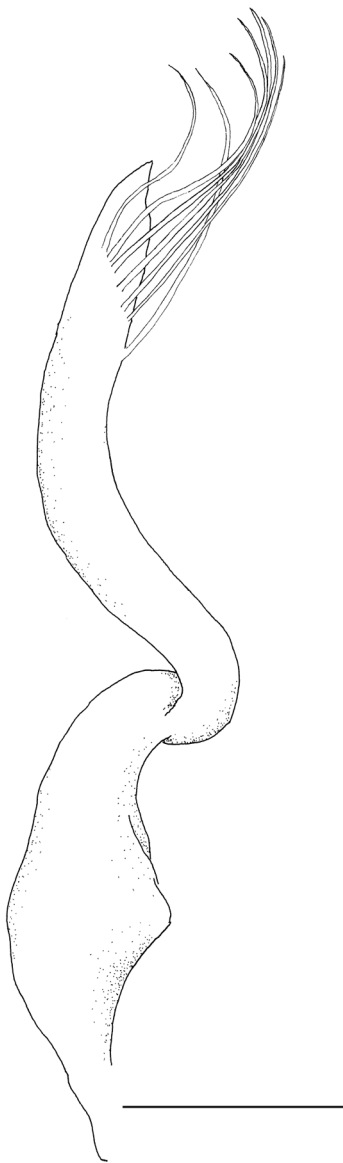


図 2. ハジカサーヒメソバガラガニ (新称) 雄の第一腹肢 (RUMF-ZC-2977, 雄, 5.9 × 7.1 mm). スケール = 0.5 mm.

Fig. 2. Male first gonopod of *Elamena panglao* Naruse, Mendoza & Ng, 2008 (RUMF-ZC-2977, male, 5.9 × 7.1 mm). Scale = 0.5 mm.

Davao Gulf, Philippines. Zootaxa, 3616(5): 495–600.

Naruse, T., J.C.E. Mendoza & P.K.L. Ng, 2008. Descriptions of five new species of false spider crabs (Decapoda: Brachyura: Hymenosomatidae) from the Philippines. Marine Biology Research, 4: 429–441.

Ng, P.K.L., D. Guinot & P.J.F. Davie, 2008. Systema Brachyurorum: Part I. An annotated checklist of extant brachyuran crabs of the world. Raffles Bulletin of Zoology, Supplement, 17: 1–286.